

# 2015年3月期第3四半期 決算説明会



**Money Partners Group**

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2015年2月4日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2015年2月4日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



# スイスフラン急騰による影響について

Money Partners Group

1月15日、スイス国立銀行が対ユーロ為替レートの上限を撤廃したことからスイスフランが急騰



## FX業者に生じた主なりスク

### 【顧客損失】

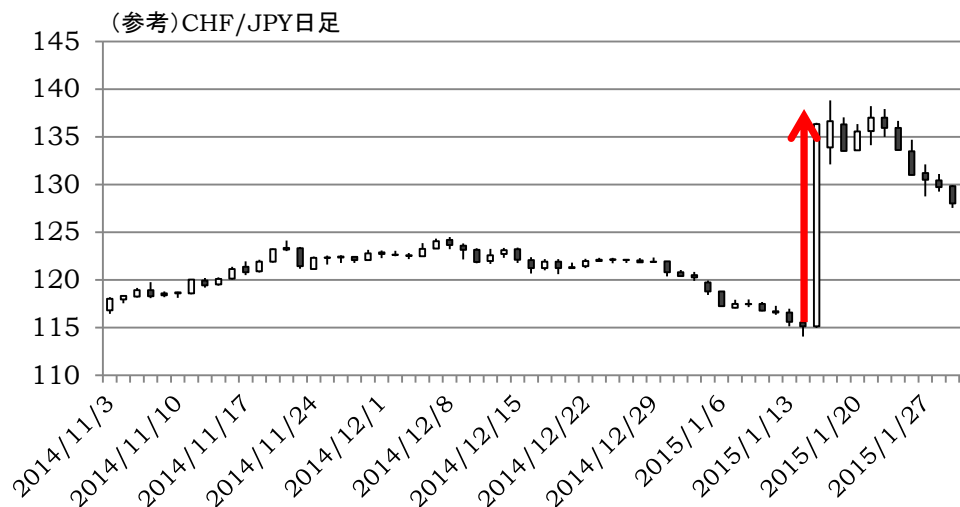
相場急変による顧客損失が預り証拠金の額を超え、未収分が回収不能となるリスク

### 【価格提示】

相場急変によるマーケットの混乱から誤ったレートを顧客に提示し、約定するリスク

### 【カバー取引】

相場急変による混乱から顧客との約定とカバー取引の約定に価格の乖離が生じ、損失が生じるリスク



## 当社グループへの影響

(2015年1月22日発表)

顧客損失の未回収残高は数万円であり、その他の損失も生じておらず、影響は極めて軽微



- I .2015年3月期第3四半期の決算及び事業の概況
- II .2015年3月期第3四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

# I .2015年3月期第3四半期の決算及び事業の概況





## 2015年3月期第3四半期(2014/10-12) 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数はマネパカードの効果等もあり堅調に推移し、約5千口座増と順調に拡大。預り証拠金も口座数の拡大に伴い 前四半期比3.7%増の47,359百万円に。

総口座数	251,189口座	2015/3期2Q末比	2.2%増
預り証拠金	47,359百万円	2015/3期2Q末比	3.7%増

- ② 外国為替取引高は、8月までの低迷相場から一転、米ドル急騰により相場が大きく変動し、米ドル／円をはじめ大きく増加した。

10-12月取引高	5,004億通貨単位	2014/7-9月比	113.0%増
-----------	------------	------------	---------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高増加に伴い1,618百万円(前四半期比38.6%増)、経常利益は四半期ベースではレバレッジ規制開始前である2011年3月第1四半期以来の最高益となる513百万円(前四半期比181.5%増)となった。

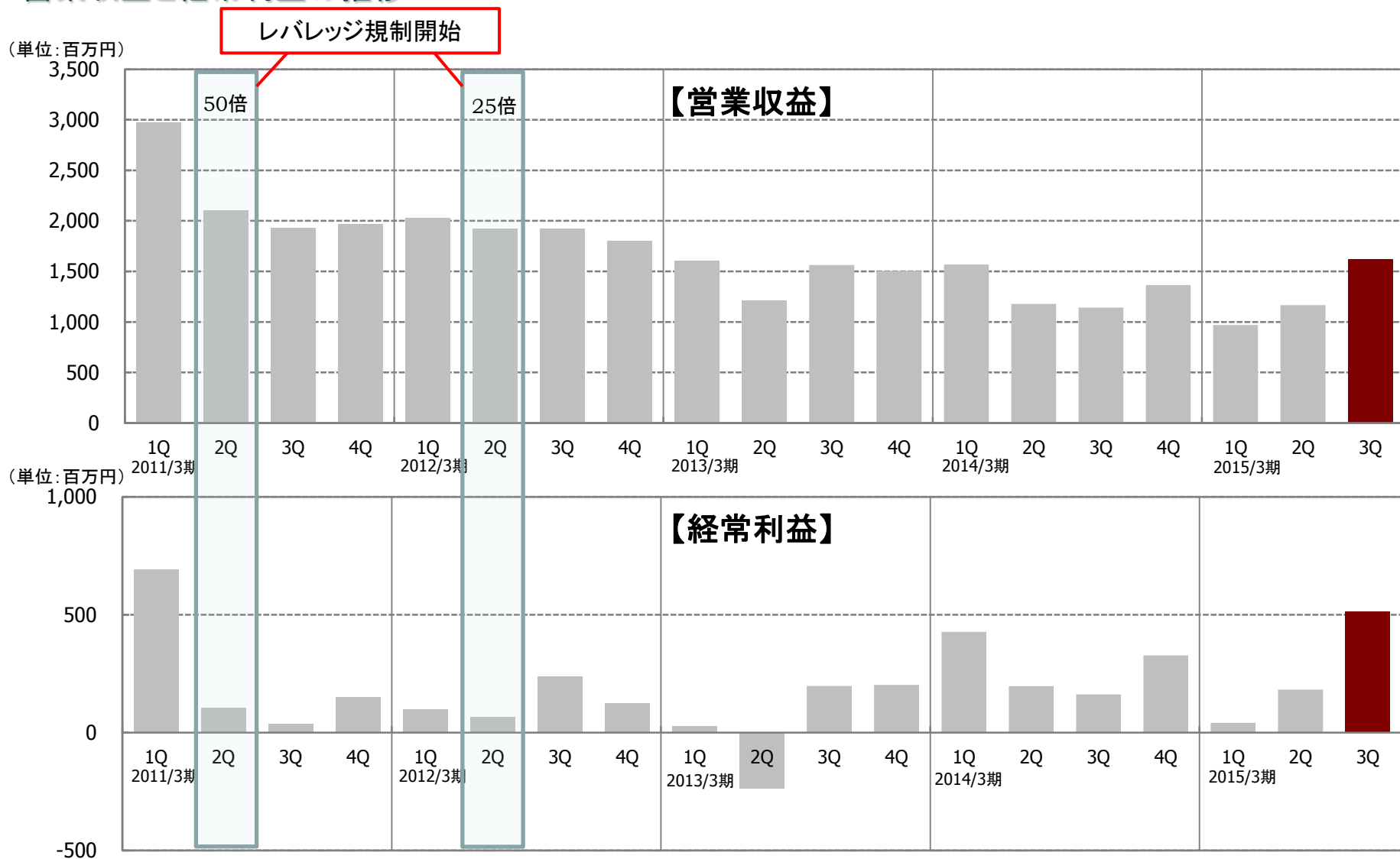
- ④ 四半期純利益は前四半期比177.7%増の325百万円となった。



# レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 営業収益と経常利益の推移





# 2015年3月期第3四半期 決算概況と影響ファクター

Money Partners Group

	2015/3期 2Q 【2014/7 ~ 2014/9】	2015/3期 3Q 【2014/10 ~ 2014/12】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,349億通貨単位	5,004億通貨単位	113.0%
営業収益	1,167百万円	1,618百万円	38.6%
経常利益	182百万円	513百万円	181.5%

## 【第3四半期の損益影響ファクター】

前四半期比

取引高



- ・ 取引高は、外国為替相場のボラティリティの回復に伴い米ドル／円を中心に大きく増加し、前四半期比2倍を超える水準に。

収益性



- ・ 相対的に収益性の低い通貨ペアである米ドル／円の割合が増加したこと等により全体としての収益性は前四半期比低下するも、前四半期比大幅増収となる水準を維持。

販管費



- ・ 取引高の増加に伴う変動費の増加等により販管費は前四半期比7.6%増加するも、変動費率の低さから大幅増益に。

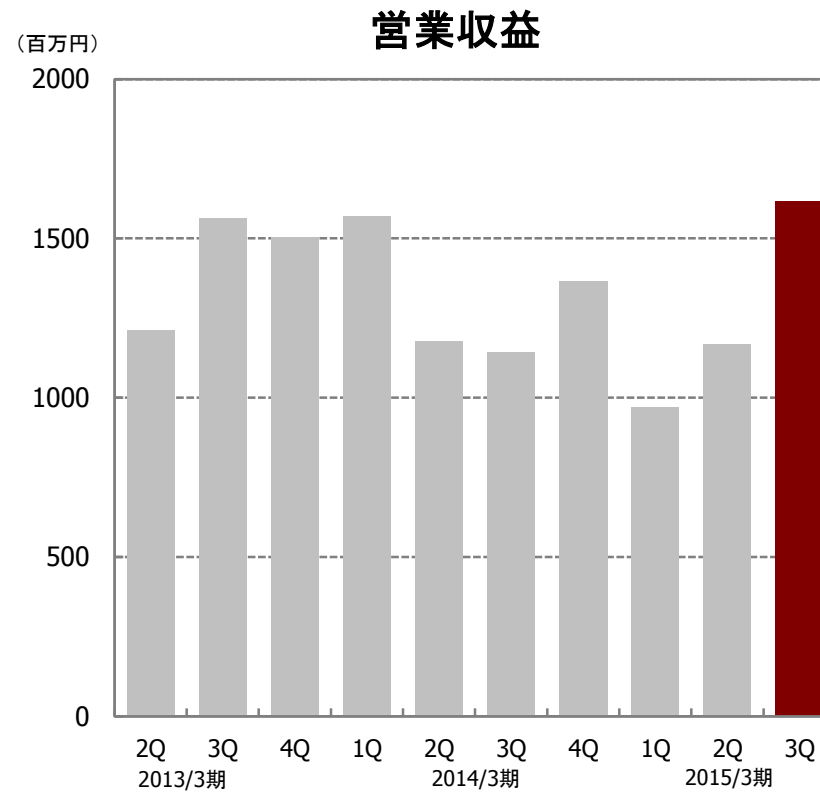
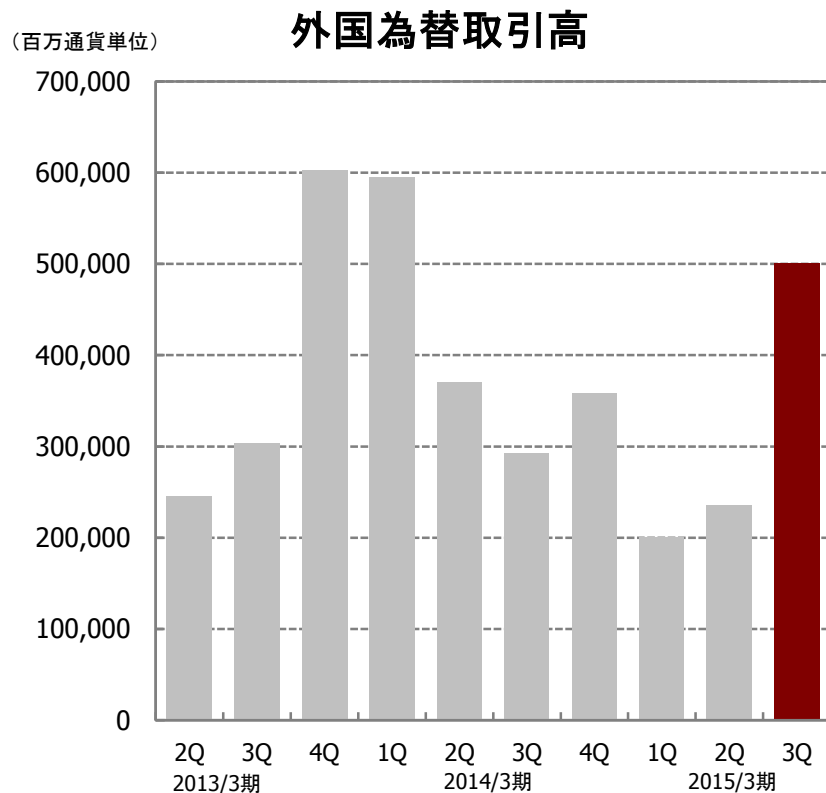




# 事業数値の動向

Money Partners Group

## ■ 外国為替取引高及び営業収益の推移

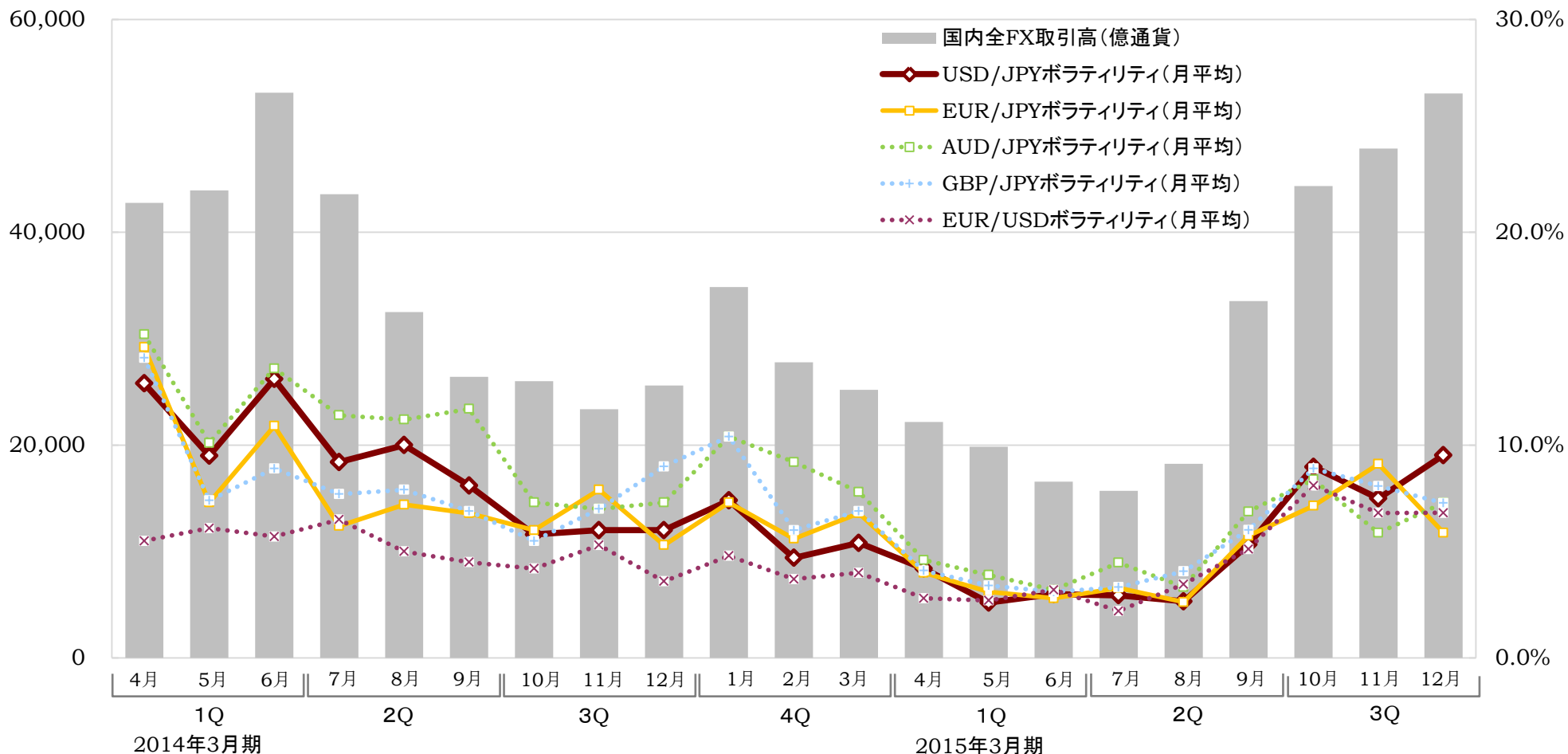


(単位＝外国為替取引高:百万通貨単位、営業収益:百万円)

	13/3期 2Q	13/3期 3Q	13/3期 4Q	14/3期 1Q	14/3期 2Q	14/3期 3Q	14/3期 4Q	15/3期 1Q	15/3期 2Q	15/3期 3Q
外国為替取引高	245,265	302,966	602,634	594,850	370,796	292,823	358,329	200,156	234,930	500,421
営業収益	1,213	1,563	1,504	1,569	1,179	1,142	1,365	969	1,167	1,618

※ 外国為替取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

## 取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



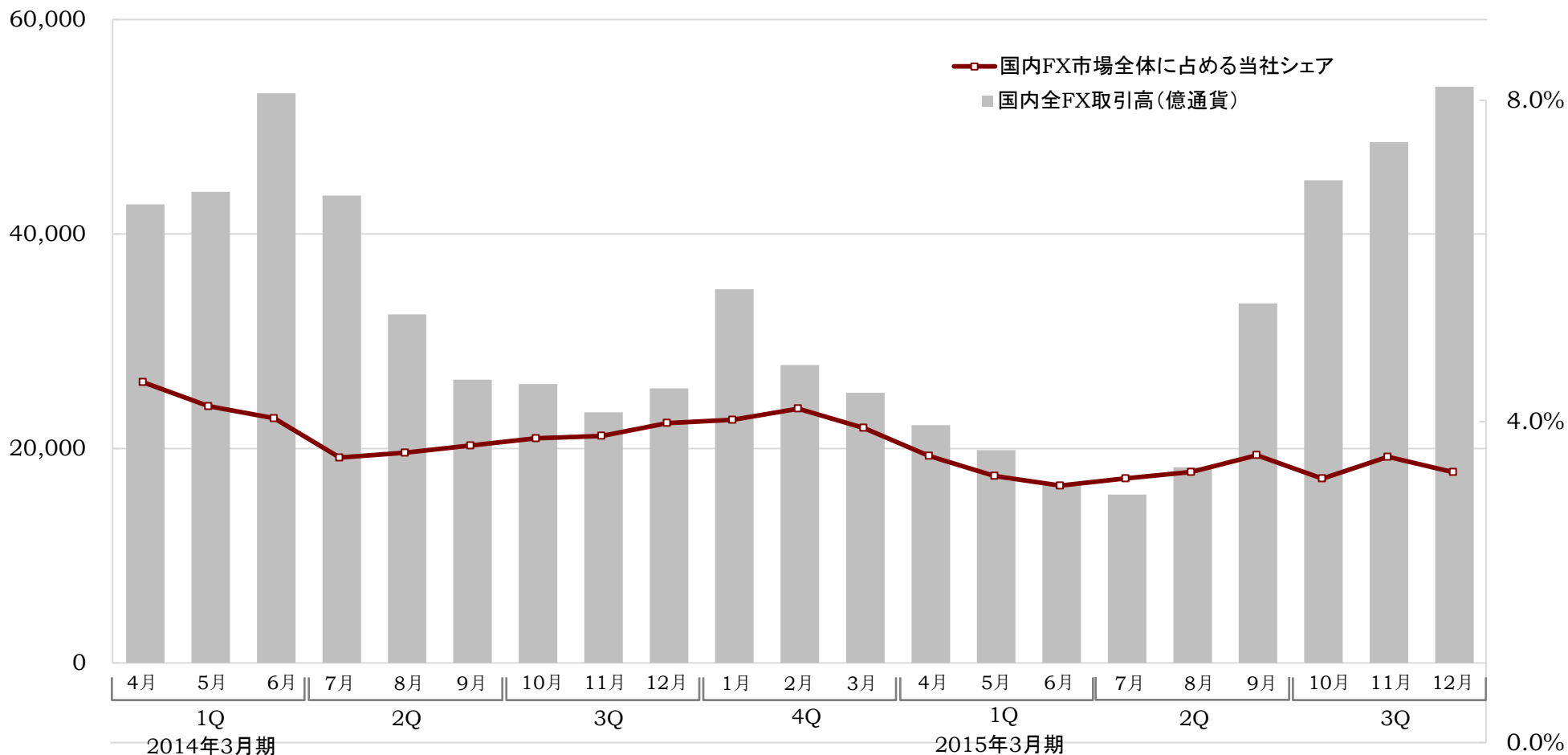
2014年5月以降の歴史的とも言える超低ボラティリティ相場は概ね8月まで継続し、その後米国早期利上げに対する思惑や日銀金融緩和拡大から米ドルが急騰、足元ではボラティリティは回復。国内全FX取引高は、ボラティリティに連動する形で8月まで低迷の後、9月以降急激に増加。



# FX取引高及び当社シェアの推移

Money Partners Group

## 国内全FX取引高と当社シェアの推移



2014年5月から8月にかけての超低ボラティリティ相場を背景にFX業界ではスプレッド競争が一部再燃するも、当社グループはスプレッド競争から距離を置きつつ取引高シェアはほぼ横這いで推移。

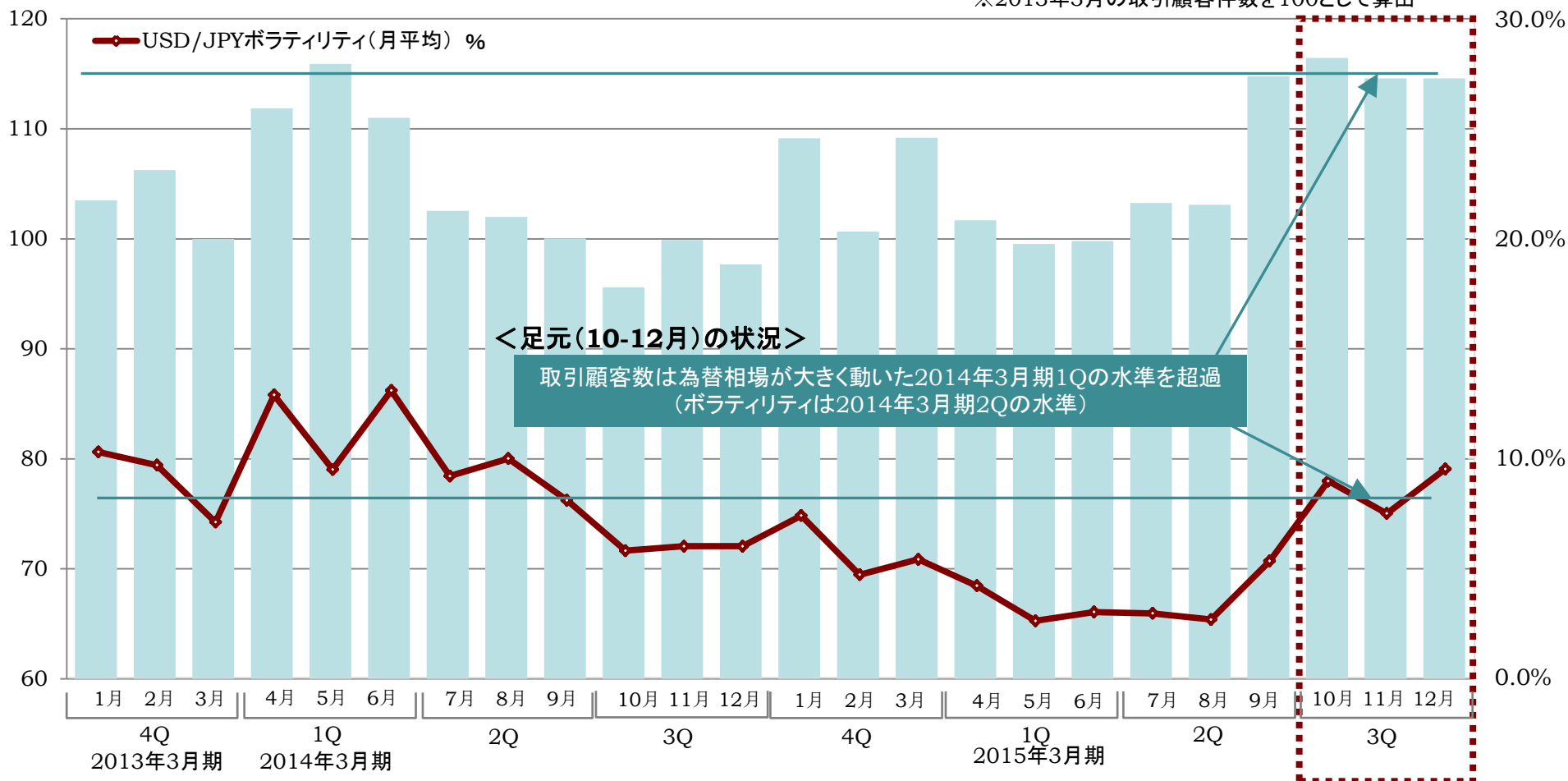


# 取引顧客数の推移

Money Partners Group

## 取引顧客数及び米ドル／円ボラティリティの推移

※2013年3月の取引顧客件数を100として算出



顧客基盤の拡充のため顧客層の裾野を広げるべくサービス面の改善やブランディングに注力。2014年1月以降、取引顧客数は従来強い相関関係をもっていたボラティリティのトレンドから上方に乖離。3Qの取引顧客数は、外国為替相場が大きく変動した2014年3月期1Qの水準を超過。



# 四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2013/3期	2014/3期				2015/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
営業収益	1,504	1,569	1,179	1,142	1,365	969	1,167	<b>1,618</b>	<b>38.6%</b>
受入手数料	17	3	2	2	2	2	2	<b>4</b>	<b>49.7%</b>
トレーディング損益	1,473	1,563	1,171	1,136	1,359	963	1,155	<b>1,601</b>	<b>38.6%</b>
金融収益	3	2	3	3	3	2	3	<b>3</b>	<b>△1.4%</b>
その他の売上高	9	0	2	0	0	0	6	<b>9</b>	<b>49.5%</b>
金融費用	21	16	16	16	17	18	18	<b>18</b>	<b>△0.2%</b>
売上原価	5	0	0	0	0	0	0	<b>0</b>	<b>0.0%</b>
純営業収益	1,476	1,552	1,163	1,125	1,347	950	1,149	<b>1,599</b>	<b>39.2%</b>
販売費・一般管理費	1,260	1,112	973	964	1,039	912	981	<b>1,086</b>	<b>10.8%</b>
営業利益	216	440	189	161	307	38	167	<b>512</b>	<b>205.5%</b>
経常利益	224	427	197	162	328	41	182	<b>513</b>	<b>181.5%</b>
税金等調整前四半期純利益	202	412	194	157	327	41	178	<b>505</b>	<b>183.1%</b>
四半期純利益	124	247	119	96	200	21	117	<b>325</b>	<b>177.7%</b>
営業収益経常利益率	14.9%	27.2%	16.7%	14.3%	24.1%	4.3%	15.6%	<b>31.8%</b>	

営業収益は、外国為替取引高が増加したことで前四半期比38.6%増加。販売費・一般管理費は前四半期比10.8%増加したものの、経常利益は前四半期比181.5%増と大幅に増加。期初来の四半期純利益額は前年同期を上回る水準にまで回復。



# 四半期販管費推移

Money Partners Group

## ■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位: 百万円

	2013/3期	2014/3期				2015/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
取引関係費	400	259	224	240	293	214	249	<b>311</b>	<b>24.6%</b>
人件費	244	257	234	231	242	225	233	<b>246</b>	<b>5.6%</b>
不動産関係費	216	154	153	146	154	154	161	<b>156</b>	<b>△3.2%</b>
事務費	233	283	226	224	226	189	213	<b>249</b>	<b>16.9%</b>
減価償却費	143	122	111	99	98	94	94	<b>95</b>	<b>1.5%</b>
租税公課	12	15	13	13	15	15	18	<b>17</b>	<b>△1.3%</b>
貸倒引当金繰入れ	—	—	—	—	0	—	—	—	—
その他	9	19	10	8	8	17	10	<b>10</b>	<b>△6.8%</b>
<b>販売費・一般管理費合計</b>	<b>1,260</b>	<b>1,112</b>	<b>973</b>	<b>964</b>	<b>1,039</b>	<b>912</b>	<b>981</b>	<b>1,086</b>	<b>10.8%</b>

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	72	79	83	112	158	91	113	<b>132</b>	<b>16.9%</b>
システム関連費用(※2)	362	349	285	268	290	247	285	<b>332</b>	<b>16.5%</b>

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

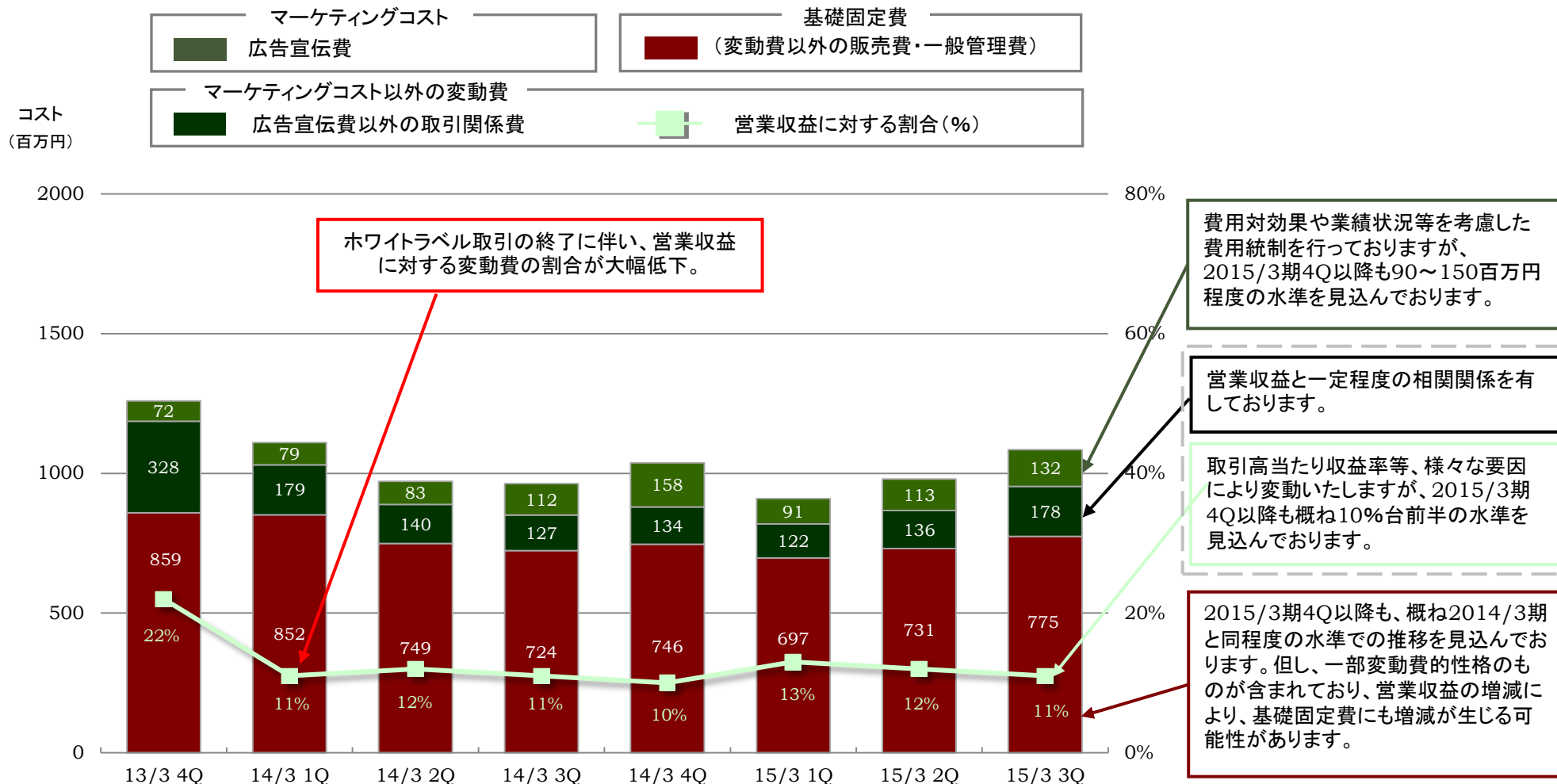
外国為替取引高の増加に伴い、変動費である取引関係費が前四半期比24.6%増加。事務費の増加(前四半期比16.9%増)は、ほぼシステム関連費用の増加であり、増加の主な内訳は変動費部分とマネパカードのサービス開始に伴う固定費。



# 四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

## ■ 主要な固定費・変動費の推移



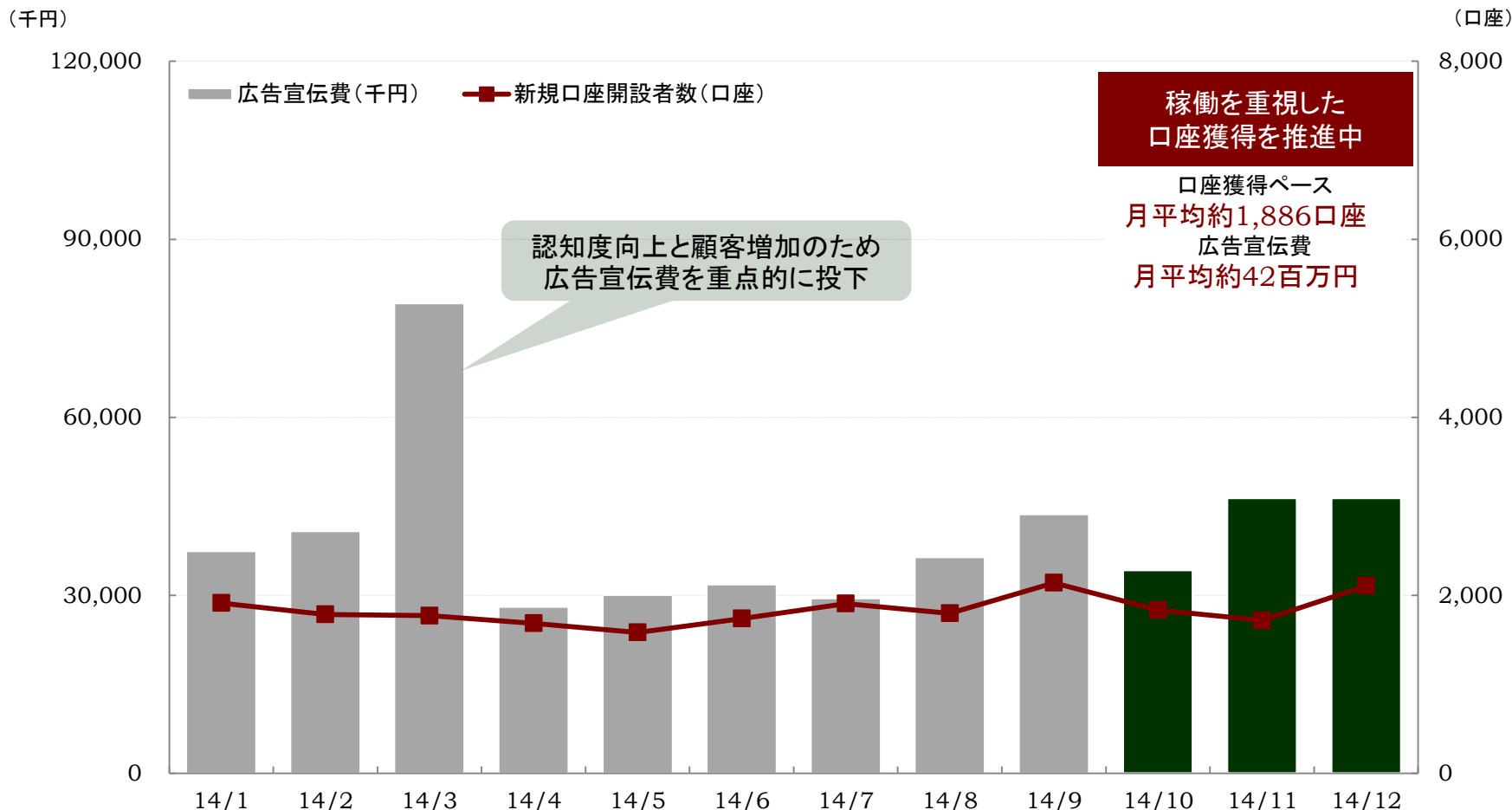
2014年9月より新サービス「マネパカード」の提供を開始しているが、新サービスの固定費に対する影響は限定的であり、コスト構造自体には大きな変化は生じていない。



# 月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

## ■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



マネパカードのサービス開始に伴うブランディング活動等により広告宣伝費全体は従来と比べ一回り増額した水準で推移。10月以降の相場変動もあり、FX新規口座開設者数は堅調さを維持。





# 月次業績指標推移

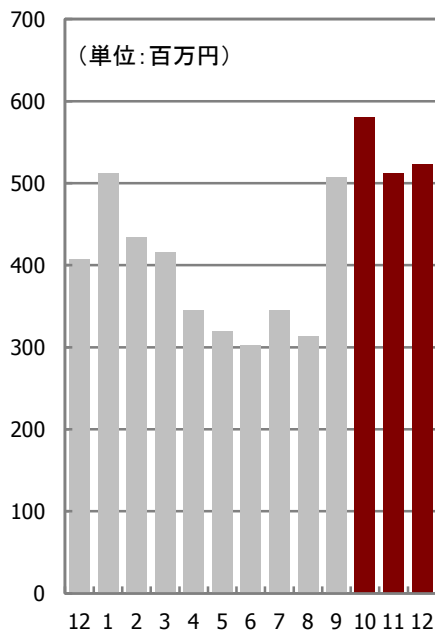
Money Partners Group

## ■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

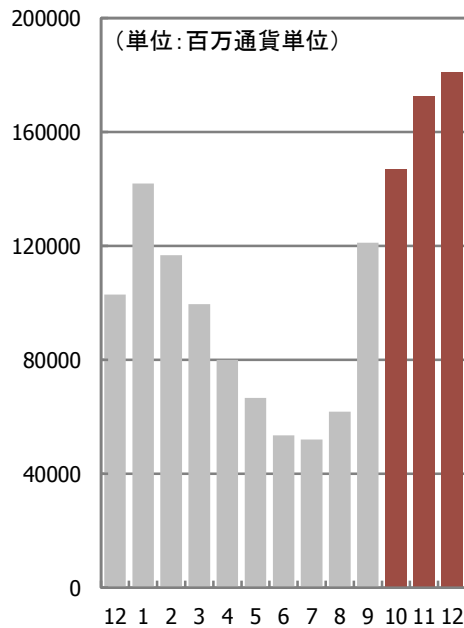
	2013年		2014年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益(百万円)	408	513	435	416	345	320	303	346	313	507	581	512	523
外国為替取引高 (百万通貨単位)	102,966	141,934	116,780	99,614	80,006	66,673	53,476	52,025	61,788	121,116	146,935	172,500	180,985
顧客口座数(口座)	230,717	232,518	234,192	235,807	237,340	238,815	240,435	242,160	243,854	245,880	247,587	249,193	251,189
顧客預り証拠金(百万円)	43,797	44,144	44,250	44,348	44,177	44,098	44,561	45,128	45,214	45,649	46,290	46,008	47,359

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

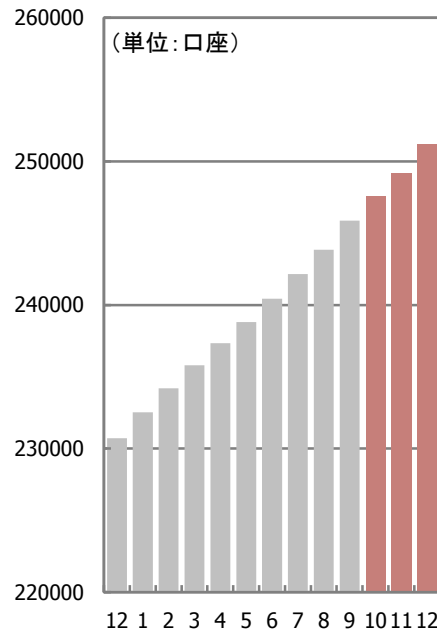
■ 営業収益



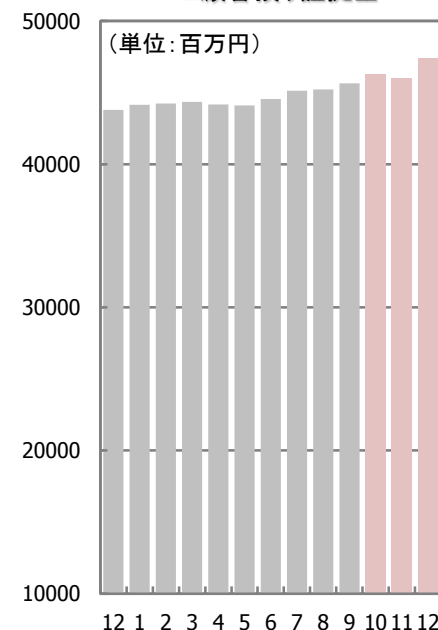
■ 外国為替取引高



■ 顧客口座数



■ 顧客預り証拠金



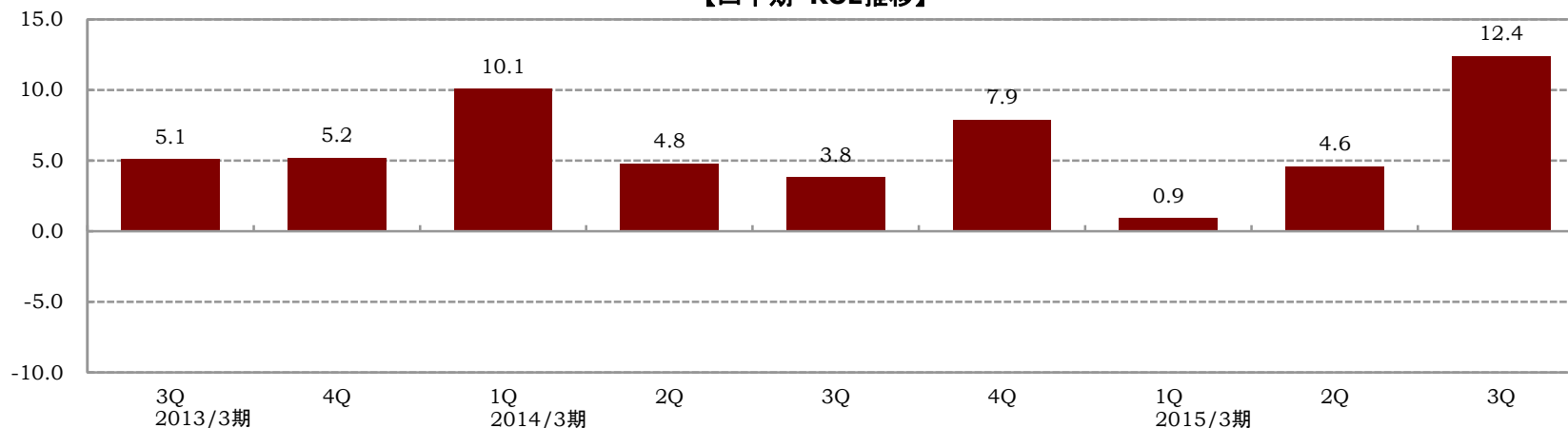


# 主要経営指標推移

Money Partners Group

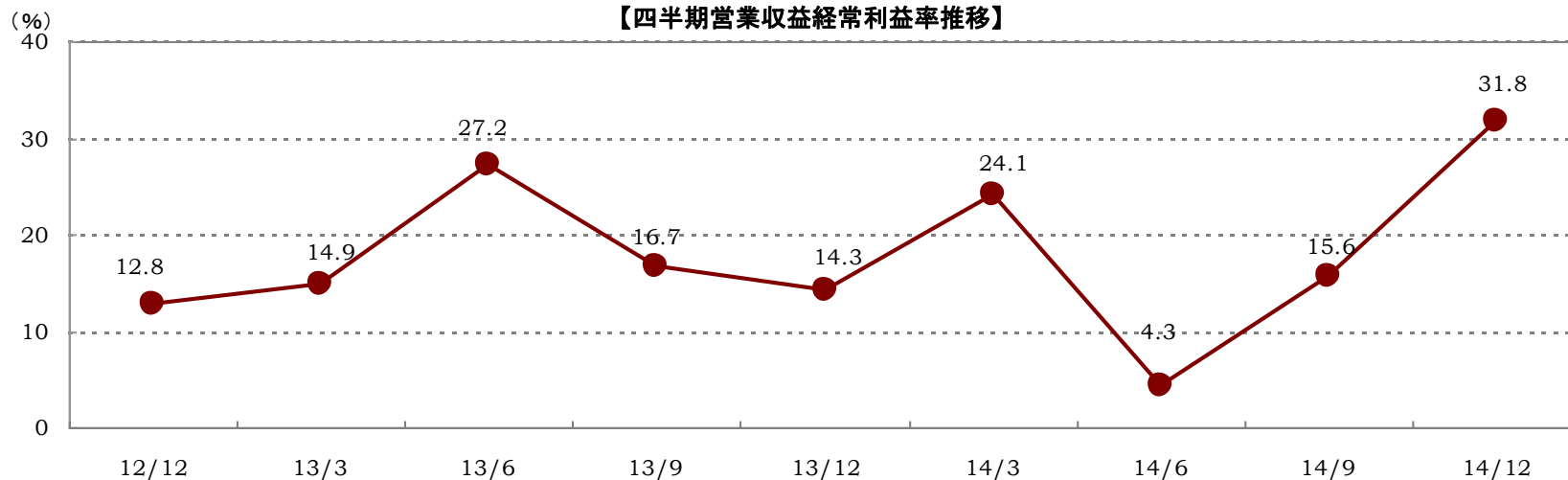
## ■ ROE及び営業収益経常利益率推移

### 【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。  
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

### 【四半期営業収益経常利益率推移】



## Ⅱ.2015年3月期第3四半期の重点施策の進捗状況





# 2015年3月期の重点施策

## 重点課題

収益力強化

顧客基盤拡大  
取引機会創出

## 重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大と収益化
- 顧客基盤の多様化と収益率の更なる向上

# 実需

# 顧客サービス

# 収益

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供
- ★ 収益性継続の改善



# 重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

## ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

### カード

## Manepa Card



クレジットカードよりも手数料がお得！  
海外専用プリペイドカード  
プリペイドカードで初！ICチップ付きで不正利用防止

### マネパカードのカンタン便利な 2 ステップ



1 5つの通貨が1枚のカードで使える！  
為替レートを確認して、おトクに外貨をチャージ！

2 旅行先で現地の通貨を使う！  
ATMで現地通貨を引き出した後、  
マスターカードのお店で使う！



2015年11月に向けて新機能追加の開発に着手

### 空港での顧客認知

3Q利用者数対前年同四半期比  
約1.33倍！



- ◆ 裾野の広い外国為替取引初心者層・実需層からの顧客獲得導線を構築
- ◆ ドル、ユーロ、ポンド、スイスフラン、韓国ウォンの5通貨取扱

### 外貨紙幣の取扱い

- ◆ 新たな提携先との取り組み(10/31東京商工会議所にて講演)
- ◆ ブランディング強化のため精力的に展開中。

We accept  
USD & EUR here!  
(bills only)

外貨紙幣使えます！

マネーパートナーズ



# 重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

## ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

### サービス品質



マネーパートナーズは、すばらない!  
**6年連続「約定力」No.1**  
(株)矢野経済研究所実施の「FXサービスパフォーマンステスト」において

- ◆ 調査会社による主要FX業者7社を対象としたFXパフォーマンステストにおいて、スリッページ及び約定拒否が発生せずに提示価格で注文が成立する率が7社中唯一100%の結果に。(2014年12月)
- ◆ 同調査開始以来、6年連続で調査対象業者中No.1を獲得。



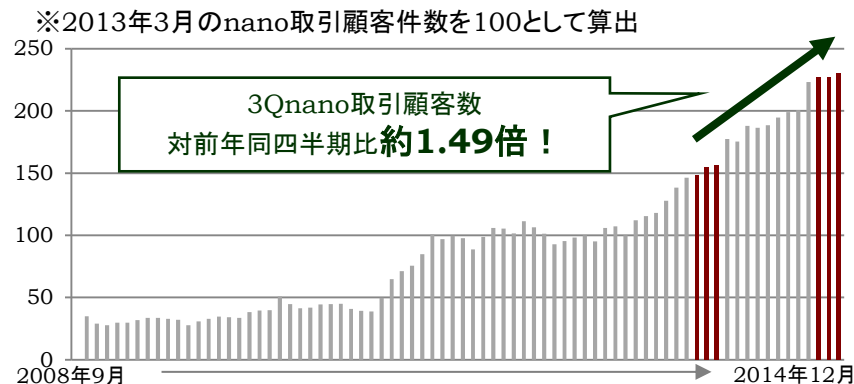
「お客様の意図するタイミング、価格での取引を実現する力」を「約定力」と定義し、当社グループFXサービスの質の高さをアピール

### ビギナー向け施策

- ・スプレッドの更なるナロー化
- ・スワップ最高水準
- ・取引ツールとの連動

※例外あり  
米ドル/円 **0.3** 銭  
初心者に最適のnano  
少額取引 & 業界最狭水準スプレッド

### nano取引顧客数推移



FX取引の一般化路線の定着を図るため、nanoの施策を展開

### CFD

9/8に取扱銘柄追加!



### Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





# 中長期的な経営戦略 ～独自ポジションの構築



FXを軸とした外国為替・資産運用の専門店を目指す!



## IV. 当社の経営目標及び株主還元について





## ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2015年3月期第3四半期(2014年10～12月)のROEは12.4%**

※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。  
ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2015年3月期第3四半期(2014年10～12月)の営業収益経常利益率は31.8%**



## 業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

### 配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末**(年2回)

	2014年3月期				2015年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 累計期間(百万円)	247	366	463	663	21	139	465	
配当金の総額 (百万円)	90		120		45			
期末発行済 株式総数(株)	322,110 (内、自己株式20,023)		32,223,000 ※1、2 (内、自己株式2,002,300)		32,241,000 (内、自己株式2,002,300)			
1株当たり 配当金	中間・期末	300円		4円		1.5円		未定
	年間	7円 ※3				未定		

※1 2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

※2 2013年3月期末の発行済株式数であります。

※3 2013年3月期の期首に株式分割が行われたものと仮定して、1株当たりの配当金額を算出しております。



# 取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

# 2015年3月期第3四半期 決算説明会



**Money Partners Group**

株式会社マネーパートナーズグループ